

ホームページもご覧ください

<http://www.komei.or.jp/km/kofu-hyodo-kenji/>

皆様方には日頃から温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

4月23日に行われた市議会議員選挙におきまして、多くの皆様からご支持を賜り、2, 117票、第3位で5期目の議席をいただくことができました。

議員の原点に立ち返り、市民福祉の向上に少しでもお役に立てる議員を目指すとともに、さらなる議会改革にも取り組んで参ります。

5月の臨時議会では、広聴広報委員会の委員長職を拝命いたしました。前任期で議会改革の一端として、市民の皆様から意見を直接いただいてこれを議会の政策づくりの起点にしようと、私が中心となって新設した委員会です。

新任期のスタートとなる6月定例会では、代表質問に登壇しました。また、新聞報道された請願審査につきましては、議会での議決の重みを顧みず党利党略に走ろうとする一部勢力に対して、正義の主張を展開しました。

甲府市議会に筋を通す公明党がいてよかった。多くの皆様からこうした声をお寄せいただいています。今後もさらに役に立つ議員となるよう全力で働いて参ります。



これまでの本会議での質問動画 → [甲府市議会インターネット中継](https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=58)

(https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=58)

6月定例会代表質問項目

- 1 甲府市総合計画とKOFU NEXT ACTIONについて
市長の3期目の公約を形にした行政計画である「KOFU NEXT ACTION」と最上位計画である甲府市総合計画との関係について質しました。
- 2 若者が戻ってきたいと思うようなまちづくりについて
 - (1) ふるさと愛の醸成
 - (2) 働く場所の確保
 - (3) 幾多の自治体の中から選ばれるための甲府の魅力の磨き上げこの3つはこれまで私が提言してきた視点です。
- 3 思いやりあふれる社会の実現について
 - (1) 動物の殺処分ゼロに向けた今年度の取組み
 - (2) ヤングケアラーの存在に気づくことのできる仕組みづくり※市が主体となる初めての「譲渡会」を年明けに行うことが明言されました。

いわゆる核兵器禁止条約請願に関するわが会派の立場

<いわゆる核兵器禁止条約請願とは>

2017年7月に国連で採択された核兵器禁止条約に日本政府が署名・批准するよう甲府市議会から地方自治法第99条の意見書を提出することを求める請願です。

今回も含めて団体名を変えながら3回請願が出されています。

第1回 令和元年6月 → 令和2年6月「不採択」

第2回 令和4年3月 → 令和4年3月「不採択」

第3回 令和5年6月 → 採択（ただし、議長を除く31名中、賛成17、
反対4、棄権10）

<これまでの議会の不採択の理由>

- 条約は意義深いものの、核保有国は一つも参加しておらず、かえって非保有国との間の対立が深まっています。
- 唯一の戦争被爆国である我が国は、条約に批准してその立場を固定するよりもこうした両者の相互不信を払いのけるべく対話を進めるための「橋渡し役」を担うべきです。
（日本が今署名批准しても、核保有国が署名批准しない限り核廃絶は現実的に不可能です。）
- こうした核廃絶に向けた「現実的な取り組み」をして、**将来核保有国と一緒に批准する**ということの方が、より具体的です。
- こうした考えから、当面**条約への署名・批准ではなく**、あらゆる手立てを講じて「核廃絶に向けた取り組みを一層進めるよう」政府に求める**意見書を全会一致で可決し**、国に送付しました（**令和2年3月24日**）。
- この意見書をもとに第1回、第2回とも請願が不採択とされました。

<今回反対した理由>

- ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、核保有国による核威嚇が取り沙汰されていますが、であるなら、こうした核保有国に対して核兵器禁止条約への署名批准を求めるべきであって、核を持っていない我が国に批准を求めるだけでは問題の解決にはなりません。
- むしろ、核廃絶に向けた対話の橋渡しの努力が一層求められており、令和2年3月の全会一致の意見書を変更して、署名批准をしなければならないほどの切迫した事情の変化は見当たりません。

<今回の議会の問題点>

- 令和2年3月の全会一致の意見書に賛成してきた議員が正反対の態度をとったことについて何の説明もないこと。
- 全会一致の議会の決議がわずか17名の議員によって破棄されたこと。
- 議会の「議決」の重みが失墜する結果となったこと。